

# 浄心寺だより

発行  
浄心寺門信徒会

郵便番号714-0081  
笠岡市笠岡2065  
電話(0865)62-2623  
FAX(0865)62-2595  
振替01260-9-13760  
<http://joshinji.suki-ari.net/>



## 「み法を味わって」(三)

「安らかに・・・」

「安らかにお眠りください」というのはどう  
いう意味でしょうか。寝苦しくてよく眠れない  
のは気の毒だということでしょうか。イライラ  
しながら目を覚ましては化けて出て、た  
ると大変だから寝かしつけておけということ  
でしょうか。

仏さまのことを覚者、おさとりを開いた方と  
いいます。真実、道理に目覚めてしあわせにな  
り、また他を目覚めさせてしあわせにする力と  
活動性を具えたお方ということです。安らかに  
眠ってもらわなくてはならないお方は仏さまで  
はありません。

仏さまが寝られては、私がしあわせになれな  
くなくなってしまいます。自分は安らかに眠りたい  
のか、安らかに目覚めたいのか、仏さまの教え  
を聞いてしっかり考えてみましょう。十二月八  
日は成道会にお釈迦さまがおさとりを開かれた  
日です。

鷹谷俊昭著『月ごとのことば』転載

ごあんない

報恩講法要ならびに親鸞聖人生誕850年・  
立教開宗800年慶讃法要お待ち受け法要

十二月三日(土) 十三時半より

ご講師 三原市大和町 徳正寺 徳正俊平師

# 秋季彼岸会・永代経法要



九月二十日(火)午後一時半より、秋季彼岸会および門信徒総追悼永代経法要が勤まりました。台風一過の快晴に恵まれました。

一同で阿弥陀経をお勤めしたのち、ご法話を拝聴。ご講師は三原市大和町、教専寺住職の福間義朝師でした。

今『鎌倉殿の13人』という大河ドラマが放送中ですが、この時代はまさに親鸞聖人が生きた時代です。疫病、いくさ、飢饉などで次々と死人が出る状況でした。そんな中で仏教は、読経によつて災難が去ることを祈りました。聖人

も東北の大飢饉の際、読経を試みましたが、断念されました。仏教とは本来そういう教えではないことが分かっておられたからです。しかしこれは当時の常識では異端であり、その態度を貫くには相当の覚悟が必要だったはずですよ。

仏教の開祖、お釈迦さまは、二十九歳の時出家されましたが、恵まれた地位、財、家屋、家族、健康のすべてを捨て、人生で抛り所とすべき教えを求められたのです。親鸞聖人もひたすら道を求め、「阿弥陀如来の極楽浄土」という教えに出会われたのです。加持祈

## 虫干し法座

### つとまる

法宝物虫干し法座が、七月十五日十三時半よりつとまりました。当初は雨の予報でしたが、次第に晴れ、風がよく吹く絶好の虫干し日和となりました。

法要では『讃仏偈』をお勤めの後、「中国真宗念仏行者御形見名号略縁起」を住職が拝読。

ご法話は、初めてのご縁、神石高原町油木の法泉寺住職、川上順之先生で、「阿弥陀さまの慈悲」についてお話しいただきました。

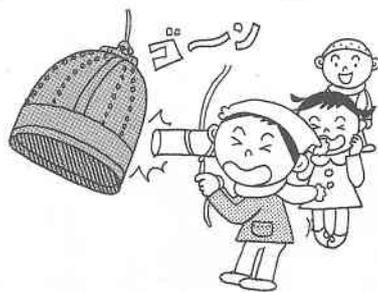
「慈」はインド語で「マーンイト



リー」といいます。それは「純粹に相手を想う心」を表わします。「純粹な」とは、余計な打算が入り込まないことです。仏さまは私たちのことを他人事と見ず、我が事として見る、すなわち自他一如の境地にあります。「悲」は「カルナー」で、「と

も悲しむ」という意味です。金子みすゞさんの詩に  
私がさびしいときに、  
よその人は知らないの  
私がさびしいときに、  
お友だちは笑うの  
私がさびしいときに、  
お母さんはやさしいの  
私がさびしいときに、  
仏さまはさびしいの  
とあります。仏さまは私たちと同じ目線に立ってくださる方です。しかもそれは「分け隔てのない」ものです。  
阿弥陀さまはこうした慈と悲を

## 除夜会 修正会



鐘の除夜の鐘、新年の初詣、お参りください。大晦日23時40分ごろより除夜の鐘を撞きます。引き続き本堂にて、新年のおつとめをします。どうぞお参りください。

禱や、根拠のない迷信や習俗には毅然と背を向けられました。どれほど身近な人でも、自分以外のことはしよせん他人事、最終的に頼りにできるのは自分だけです。一人来りて一人去る、そうした人生を生きる上で、抛り所とすべき教えを持つておくことは大切なことではないでしょうか。

あわせもった方であり、対して私たちは打算や分け隔てをしながらしか生きていけない存在です。そうした人間が寄り集まっているのがこの世間です。み教えから、阿弥陀さまの慈悲を学び、私たち自身が自覚して、悲しい思いをする人が少しでもいない世の中にしていきたいものです。

# やさしい仏教講座

第16回 8月20日(まとめ)

## 『現場で読経』

安倍元首相が七月初めに銃弾に倒れましたが、その現場で真言律宗の僧侶が読経をした、という新聞記事を取り上げました。また後日には現場に供えられた花束を供養する法要も営まれたとのこと。

現場で読経をするということとは、その場に死者の霊や無念がただよっている、ということでしょう。現場の花束にも死者の思いが宿っている、ということでしょうか。

お釈迦さまは、今を生きる私たちのために教えを説きましたが、それが記したのが「お経」です。慰霊や清めのためのものではありません。私たちは正しくお釈迦さまの教えをいただき、安倍さんのためにも日本をよい国にしていかなければならないでしょう。

## 『劫といつ時間の単位』

正信偈には「法蔵菩薩が五劫の間思慮を巡らせ、極楽浄土を創った」とありますが、この「劫」といふ単位をみていきました。

『大智度論』には「一辺2000

kmの岩を百年に一度布でなで、岩がすり減って完全になくなっても劫に満たない」といわれ、また

「一辺2000kmの城にケシ粒がぎっしり詰まっており、その中から百年に一粒ずつケシ粒を取り出していつて、城の中のケシ粒が完全になくなっても劫に満たない」ともいわれます。それほど長い間かけ、救いの場所を創っていた、と説かれているのです。

## 『四十九日法要』

前回に続いて当法要について説明しました。別名「満中陰法要」ともいいますが、「中陰」とは死んでから次の生まれまでの宙ぶらりんの状態を指します。四十九日目で次の生まれが決まるので、「中陰が満ちた」といいます。これはインド土着の「輪廻転生」という考え方に基づくものです。



お釈迦さまは輪廻することなく死後直ちに仏国に生まれるという教えを説きました。これが私たちの『阿弥陀経』に「即得往生」と

説かれる教えです。

私たちは故人を通じて「自分自身の生き方」に気づかせてもらうことが大切です。それこそ、お釈迦さまが願っていたことです。

## 『法名とは何ですか?』

他宗派では戒名ともいいますが、私たちは「法名」といいます。仏教徒としての名前で、浄土真宗では頭に「釋」の字をつけます。生前にいただいておりますが、葬儀の際に付与することが多いのも事実です。

## 『若い人のために』

「若い人や仏教に興味がない人に、大切な教えがあれば」と質問いただきました。

日常生活をする上で仏教的思考を身に付けておくことは非常に重要です。その一つは「縁起(おかげさま)」という道理。世の中のすべては互いに関わり、影響し合っています。コロナ禍やロシアの侵略戦争によって、自分一人がよければいいという考え方は通用しないと、あらためて感じられます。



# やさしい仏教講座

令和5年の予定

住職による「やさしい仏教講座」の来年の予定です。

『なるほど浄土真宗』というテキストに沿って進めています。夜席ですが、お誘い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。毎回十九時半より。

## やさしい仏教講座 令和5年の予定

第19回	2月9日(木)
第20回	4月13日(木)
第21回	6月7日(水)
第22回	8月19日(土)
第23回	10月10日(火)
第24回	12月6日(水)

## 令和5年(2023年)年回表

年回忌	往生年
1周忌	令和4年
3回忌	令和3年
7回忌	平成29年
13回忌	平成23年
17回忌	平成19年
25回忌	平成11年
33回忌	平成3年
50回忌	昭和49年

※該当のお方には別途お知らせいたしますが、遺漏することもありますので、ご留意、ご確認の上、ご法要の日程を早めにご相談ください。



「第二十六回備後教区平和のつどい」が十月二十一日十二時より、倉敷市真備町のマービーふれあいセンターで開催されました。

備中里組が担当組ということもあり、当寺からは住職、門信徒会長など九名が出席。

全戦没者追悼法要の後、「ひろしま原爆被害者の叫び―念仏者として」と題する、日本原水爆被害者団体協議会代表委員、広島県原爆被害者団体協議会理事長、安芸教区明覚寺門徒総代の箕牧智之氏による講演を聴きました。同氏は三才の時爆心地から十七キロにある家に住んでおり、爆発から二日後に母親と市街へ父親を捜しに出かけ、被爆したとのこと。小学五年の時には体調が悪化、四か月も寝たきりになったそうです。国内のみならず、ニューヨークなどへも行つて体験を語っておられます。

語り部が高齢化し、原爆体験を聴くことが難しくなっている現在、貴重なお話を伺え、平和への思いを強くしました。

やさしい仏教講座

第17回 10月12日(まとめ)

『阿弥陀仏の放つ光』

正信偈の十一句目からは、阿弥陀如来の放つ光に十二もの形容詞がつけられます。これは『無量寿経』からの引用です。

ここで光がクローズアップされるのは、「極楽浄土はすばらしいところだ」と説いているのです。私たちが「死後の世界は安心だ」と思えるようにするためなのです。

「極楽浄土の存在を信じる」とにより、今をしつかり生きることに。これこそ、浄土真宗の信仰の核心です。「明るい浄土」は、私たちにとつて希望であり救いです。

「南無阿弥陀仏」は「阿弥陀仏に感謝します」という意味ですが、これは「阿弥陀仏が極楽浄土を創つてくれたことに対して」感謝、なのです。お浄土は私たちが生きていく上での拠り所なのです。

本来仏教は、生きている者のための教えです。親鸞聖人はいづれは死なねばならない私たちにとつて、一つの希望となるのがこの極楽浄土だと考え、その世界を拠り所に生きる、という浄土真宗を開かれたのです。

『お墓』

お墓の形は基本的にどんなものでもよいのですが、宗派によつて刻む文字等に違いがあります。



浄土真宗では竿石に「南無阿弥陀仏」か「俱会一処」と刻みます。そして名前等は墓石の側面か別建ての「法名碑」(霊標とはしません)に刻みます。建立日に「吉日」は用いけません。また「水」のお供えはせず、墓参りの際に水をかけてお参りすることもしません。

近年はお墓を建てない、あるいは墓じまいをすることが急速に増えてきました。同じ地域に世代を超えて住み続けない、あるいは家系が続かないという社会状況が影響しています。遺骨は寺院の納骨堂や永代供養墓などへ収め、管理してもらうことになりました。

親鸞聖人が「私が死んだら賀茂川へ捨てて魚に与えよ」と言われたように、浄土真宗の理想は遺骨は自然に還すことです。そして遺骨やお墓に執着せず、故人が還られた世界を表わすお仏壇に、手を合わせることを大切にします。

トット言

水引は 何色を使えば?

「御布施」や「御供」

などの際、水引は何色を使えばいいの、



という質問をよくいただきます。黒白、黄白、赤白、銀とさまざまありますが、場面場面でどれがいいのか迷われることと思います。

お寺に関することは、もちろん仏教なので、仏教的に言えば正解は：「水引をしない」です。実は水引をするのは神道のやり方なので、お坊さんにきかれても困るのです。仏教的に言えば、無地の奉書紙を折りたたんで紙幣を包み、表書きに「御布施 津田明雅」等と書けばよいのです。

といつても、市販されているのは水引のついたものが多く、無地はあまり見かけません。水引のついたものを家にたくさん常備してある方も多いと思います。それらを使う場合には、葬儀や浅い年忌の法要には黒白の水引を、入仏法要や報恩講などには赤白を、お盆やお彼岸には黄白を、といったように、ご家の悲喜の気持ちに応じて使い分けられたらいかがでしょうか。

# 門信徒の広場

## 地区委員さん登場



金浦南地区

山下庄太郎

さん

山下さんは金浦を通る鉄道より南側の地区九戸を、令和三年から担当してくださっています。

令和二年に八十歳を迎えたのを機に退職するまで、約五十年近く福山のタクシー会社に勤められていたそうです。その間、地区行事

## 地区委員さんの交代

### 樋守地区

(前) 高橋保文さん

(新) 高橋良彰さん

### 宮地地区

(前) 梶村良直さん

(新) 木村 潔さん

高橋保文さんには平成二十一年より、梶村さんには平成二十九年よりお世話になってきましたが、ご都合により退任されることになりました。これまでありがとうございます。

などは全て奥さん任せとなり、金浦で生まれ育っていないこともあって、地域に馴染みがない事が残念だと話しておられました。

今は時間を見つけては、愛車の掃除やワックス掛け、また健康維持のために散歩をしているそうです。長年の接客経験からでしょうか、物腰の柔らかい優しさ溢れる話し方が印象に残りました。

不慣れではありますが、精一杯出来ることを頑張りたい、とのこと。

後任は高橋良彰さん、木村潔さんに受けていただきました。よろしくお願いいたします。

九月十日午前七時半より、仏婦会員のみなさんにより、本堂、庫裡、境内の清掃が行われました。特に、屋内の合同清掃は年に一度なので、一年の汚れがすっかり落ちました。

## 仏婦清掃奉仕



親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要への参拝

来年の四月十一日(火)、西本願寺での午前の法要に参拝します。

今回は備中里組での団体参拝で、浄心寺は金浦の報恩寺さんと合同でお参りします。日帰りで、浄心寺の定員は二十名です。

募集開始は二月の予定。

報恩講のお斎は中止



報恩講法要では正午よりお斎の席を設けていますが、今年もコロナ禍のため、中止します。

## 新春のつどいの中止

コロナ禍のため、残念ながら今年も中止とします。

## 世界仏教婦人会大会

### 参加者募集

来年五月十一日(木)〜十二日(金)に浄土真宗本願寺派の仏教婦人会の世界大会が京都で開催されます。

本山の慶讃法要参拝のほか、京都国際会館で大会、夕食交流会が

## 還浄(げんじょう)

(敬称略)

高草	貞子	6	16	77
笹川	挨子	6	22	86
赤沢	敏子	7	10	79
菅原	智恵子	7	22	88
小川	眞子	7	24	64
高橋	清子	8	5	77
赤藤	朋代	8	7	76
本保	静子	8	14	90
幡多	美貴夫	8	16	80
磯川	和	8	17	18
立田	房江	8	18	86
藤井	博志	8	26	75
綿地	泰子	8	29	93
西島	和美	9	4	75
仁科	信幸	9	9	89
仁後	徳美	9	12	96
中城	政信	9	16	85
村上	梗子	9	16	89
平田	眞砂子	9	20	85
辻川	澄江	9	22	86
神保	和道	9	25	52
磯川	千榮子	10	2	106
渡辺	清乃	10	6	42
齋藤	良三	10	8	88
眞備町				
生江浜				
横島				
福山市				
園井				
新横島				
富岡				
富岡				
寄島町				
里庄町				
鴻巣市				
神島外				
里庄町				
富岡				
十一番町				
宮地				
金光町				
川辺屋				
下追分				
西本町				
倉敷市				
里庄町				
守口市				
鴨方町				

あります。

参加ご希望の方は、お早めに浄心寺までお知らせください。



浄土真宗



教えと  
そのあゆみ

私たちの宗門(15)

浄土真宗の礼拝対象

南無不思議光如来

(九字名号)

宗祖の著『弥陀如来名号徳』には、阿弥陀仏の光明のはたらきを、

- 無量光・無辺光・無碍光
- 無対光・炎王光・清浄光
- 歓喜光・智慧光・不断光
- 難思光・無称光・超日月光

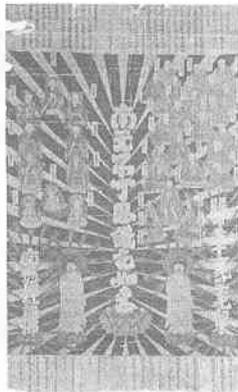
と、十二に分析して讃えています。中国の曇鸞は、この十二光の中の難思光と無称光とを合わせて、南無不思議光仏といっています。

この不可思議光仏の徳は、われわれの浅はかな心で推し量ることも言葉で言い表わすこともできないすばらしいもので、それゆえ不可思議光仏というのである、と宗祖はおっしゃっています。

光明本尊

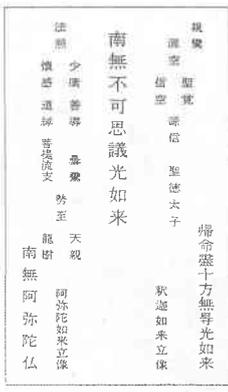
宗祖の死後まもなく、豪華絢爛

な光明本尊が初期教団で安置され、それは東は奥州から西は中国地方にまで及んでいます。



光明本尊

『浄土真宗と本願寺の名宝II』より



これは「光明本尊」に描かれた配列を文字で表示したものです。

光明本尊は九字名号を中央に、左右に六字と十字の名号を配しています。こうした順序で配置した理由については、存覚著『弁述名体鈔』は次のように説明しています。もともと中央には「南無阿弥陀仏」と書くのがよいと思う、しかし、これはインドの言葉なので、その意味を十分に理解できないであろうとの配慮から「南無不思議光如来」の九字名号を中央に記した。この九字名号は中国の言葉なので、日本人にも理解しやす

境内墓地の塀の改修

本堂西側の境内墓地の塀が倒壊の危険があることが判明し、急遽、改修工事をする事になりました。すでに九月二十三日より着工しています。

この墓地は石垣を組んで地盤を上げて作られています。その石垣が長年の歳月のうちにずれ、塀が傾いてきたようです。今回の改修では雨水を処理するために、あらたに塀沿いに溝を付けた。基礎部分に水抜き穴を

そこです。九字名号の意味を心得させたのち、不可思議光の本体は阿弥陀仏であり、また阿弥陀仏は無碍光仏とも称するので、九字・六字・十字という配列にした。

豪華な光明本尊

光明本尊は畳一枚くらいの大きさの紺色の絹布に、金色の文字で九字名号が中央に大きく描かれ、下方両脇に六字名号と阿弥陀如来像、十字名号と釈迦如来像を描き、九字名号の左にインド、中国の高僧像、右に日本の高僧と聖徳太子像を描き、画面の上下には讃文が記されています。

あけることになりました。改修工事に伴い、塀沿いに墓地をお持ちの方には一時的に墓石を移動させていただくなどご迷惑をおかけしますが、改修後にはより快適にお参りしていただけるようになると思います。



編集後記

秋空に菊の香ただよう候になりました。七月の法宝物虫干し法座、秋季彼岸会法要等のご報告、本年のお待ち受け法座報恩講、やさしい仏教講座、除夜会等のご案内をお知らせする第141号をお届けいたします。

これから寒さに向かいますが、どうぞ御身おいたわり下さいませように。編集委員 釋賢大